

別紙2-2 科目・カリキュラム一覧(見学等実習を行う場合)

科目・カリキュラム番号	科目名	カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	実習に充てる時間	合計履修時間数	履修日	講師	備考	
1	職務の理解		0					0				
2	介護における尊厳の保持・自立支援		6	3	3	3		6	平成23年4月2, 3日	越谷ガーヤ・川越ときも		
3	介護の基本		4	2.5	2	2		4	平成25年4月10日	羽生むじなもん		
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携		3	2	2	1		3	平成25年4月11日、12日	北本とまと・杉戸ぴかる		
5	介護におけるコミュニケーション技術		6	3	4	2		6	平成〇〇年〇〇月〇〇日	越谷ガーヤ		
6	老化と認知症の理解		9	5	6	3		9	平成〇〇年〇〇月〇〇日	埼玉 又ウ		
7	障害の理解		3	1	2	1		3	平成〇〇年〇〇月〇〇日	埼玉 又ウ		
8	「8. ころとからだのしくみと生活支援技術」	介護の基本的な考え方	2.5	12.5	2.5	0		2.5	平成〇〇年〇〇月〇〇日	鴻巣ひな		
9		基本知識の学習	介護に関するころのしくみの基礎的理解		2	0	2		2	平成〇〇年〇〇月〇〇日	羽生むじなもん	
10		介護に関するからだのしくみの基礎的理解	2		0	2		2	平成〇〇年〇〇月〇〇日	川越ときも		
11		生活と家事	5		3	2		5	平成〇〇年〇〇月〇〇日	北本とまと		
12		快適な居住環境と介護	2		0	2		2	平成〇〇年〇〇月〇〇日	社会しやきたま		
13		生活支援技術の学習	移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		3	1	0	2	3	平成〇〇年〇〇月〇〇日	越谷ガーヤ	
14		食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	2		0	2		2	平成〇〇年〇〇月〇〇日	秩父りゆうごん		
15		睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	1		0	1		1	平成〇〇年〇〇月〇〇日	羽生むじなもん		
16		死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護	0.5		0	0.5		0.5	平成〇〇年〇〇月〇〇日	志木あら		
17		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解		2	2	0		2	平成〇〇年〇〇月〇〇日	社会しやきたま	
18	振り返り		0									
19	見学等実習	特養等施設見学等実習	3		3		3	3	平成〇〇年〇〇月〇〇日	横瀬ブギー・川野カワシロウ	11から17の項目を3時間、職務の理解1時間、振り返り2時間	
20		訪問介護事業所やデイサービスでの見学等実習	3		3		3	3	平成〇〇年〇〇月〇〇日	越生うめりん・毛呂山もろ丸		
	修了評価		0.5		0.5			0.5	平成〇〇年〇〇月〇〇日	羽生むじなもん	30分程度の筆記試験を行う	
	合計		59.5	29	34	23.5	2	59.5				

1から7まで1講師3科目程度まで

8から17まで1講師3科目程度

1から17まで担当した講師が行う

(注1) 講義と演習を一体的に実施する。

(注2) 別紙12-1、12-2「生活支援技術」

(注3) 「8. ころとからだのしくみと生活支援技術」

(注4) 修了評価は、筆記試験により実施すること。

(注5) 「1.職務の理解」及び「18.振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能。

(注6) 各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

通信時間は29時間未満になるようにしてください。

「8. ころとからだのしくみと生活支援技術」においては移動・移乗に関連した実習を2時間実施してください。

合計で59時間以上になるようにしてください。